

平成 29 年 2 月県議会 文教企業委員長報告（平成 29 年 3 月 14 日）

（「学びの改革」に関する部分のみ抜粋）

「学びの改革（高校フロントランナー改革）」について、昨年 10 月にまとめた「学びの改革 基本構想（案）」に対するパブリックコメントや意見交換等のこれまでの議論を踏まえ、この 3 月末に全県的な方針や理念を「学びの改革 基本構想」として決定し、来年度、具体的な方向性を盛り込んだ「学びの改革 実施方針」を策定し、魅力ある高校づくりに取り組んでいくと説明がありました。

このうち、「新たな高校づくり」に関連して、多くの委員から、今回の改革を地域にとって良い高校を作るプラス思考の機運とすることや特色ある高校づくりにつなげるべく、新年度は地域での懇談に移行し、改革を力強く進めてほしいとの意見が出されました。

一方で、第 1 期高校再編時の統廃合対象校の提示過程や手法の反省を踏まえ、地域や学校関係者との丁寧な議論をすべきとの要望も出されました。

教育委員会からは、県立高校は地域の皆さんから支援を受けて成り立っているものであり、激変する社会の中、それぞれの地域の思いを受け止め、丁寧かつ着実に「学びの改革」を推進してまいりたいとの答弁がありました。